和教時報

2023年８月15日（火）発行　第2000号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

2023人事院勧告

初任給１万円超、再任用含む全世代の月例給改善＆一時金改善　しかし物価上昇分に及ばず不十分

和教組　書記長　川口　貴生

人事院勧告（2023年８月７日）の主な内容

1、官民較差　　3,869円（0.96％）　国家公務員が民間より低い
2、給料表の改定（2023年４月実施）
　＊初任給をはじめ、若年層に重点を置きながら、再任用も含め、全世代で給料表を改善
　　・改善幅（12,000円 ～ 1,000円）　　※再任用フルタイム：1,000円
　　・初任給　大卒：約６％（11,000円）増
　　　　高卒：約８％（12,000円）増
3、一時金（ボーナス）
　　期末手当：＋0.05月（年間で2.45月に）
　　勤勉手当：＋0.05月（年間で2.05月に）
　　計　　：＋0.1 月（年間で4.5月に）
　　※再任用　期末手当：＋0.025月（年間で1.375月に）
　　　　勤勉手当：＋0.025月（年間で0.975月に）
　　　　計　　：＋0.05 月（年間で2.35月に）

生活改善につながる引上げを

人事院は公務員の労働基本権制約（ストライキ権はく奪など）の代償として設置され、毎年、春の民間賃金と国家公務員賃金と比較し、その改正について首相と国会に対し勧告します。私たちは民間も公務も協力し、人事院に対し署名を集め条件改善を求めてきました。

今年は表のように、月例給については再任用も含めて全世代のベースアップが勧告されました。高卒初任給は一万二千円、大卒初任給は一万一千円、号俸が上がるにつれて上昇分を圧縮され、再任用で千円の引上げとなっています。

ボーナスは〇・一月分のプラスで、期末手当と勤勉手当に〇・〇五月ずつ配分しました。期末手当の引上げは久しぶりで、人事院は「概ね民間と均衡状況に達した」と説明しています。

大幅なアップですが、しかし物価上昇分には及んでおらず、生活改善という点では十分とは言えません。

給与制度のアップデート骨格案

今年の人勧では、今後の給与制度改定について骨格案が示されました。注目されていた六〇歳前後の給与カーブのあり方は、「引き続き検討」にとどまりました。矛盾を生んでいる地域手当について、円滑な人事配置を理由に、地域設定を広域化する方向が示されました。来年の勧告の際に具体案が出るものと思われます。

会計年度任用職員の四月遡及

人事院は、国の非常勤職員について、常勤職員と同じように給与改定を四月に遡って行うよう、あらためて求めました。

和歌山県では常勤職員の賃金は四月に遡って改定され、一二月に「差額」が支給されますが、会計年度任用職員の改定は翌年四月です。

直ちに賃金を引き上げることが私たちの要求ですが、四月遡及も重要な課題です。

人事委員会交渉、確定交渉で要求実現を勝ちとろう！

現在、一〇月に出される県人事委員会勧告に向け、和教組は他の公務労組とともに人事委員会と交渉を行っています。

その後、確定交渉が行われますが、仲間を増やし、力を合わせて要求実現を勝ち取りましょう！

輝いてワンショット

日高支部夏期講座
マットあそびからマット運動へ

ピンのスポット　412

このお盆休み、私は日中、暑さで活動する気もせず、もっぱら屋内で映画や読書に勤しみました。そこでよく耳に目にしたのは「AI」でした。人類として今最も話題の題材なのでしょう。

全国の教育のつどいで、指先がほんの少し動く方に対してスイッチやタブレットなどを用いて主体的に活動する姿を報告する実践に出会いました。その報告を聞きながら二〇年前に聞いた実践を思い出しました。毎日の絵本の読み聞かせの中でいつも同じ場面になると小さな声を出すようになったというものでした。小さな小さな動きも見落とさずに気持ちの揺れをさぐる実践を繰り返す、絵本もICT機器もどちらも文化でそれは人とのかかわりの中に存在します。

「AI」もどういった人とのかかわりの中で活用されるものなのか？考えないといけないなあと思いました。

（Y）

原水爆禁止世界大会IN長崎

8月7日~8日

東牟婁支部　みくまの支援分会　角川　知子

▲8月7日開会総会

台風六号が近づく長崎で開催された原水爆禁止世界大会に初めて参加してきました。

さすが！世界大会

国連事務次長を始め、オーストリア、メキシコなどの政府機関代表、フィリピン、韓国、ベトナム、イギリス、ウクライナ、ドイツ、フランス、フィンランド、アメリカなどの平和団体、国際団体といった海外代表のみなさんの発言を聞くことができました。長崎で七八年前に起きた原爆投下が近い将来、現実化しかねないところにあるとみなさん訴えていました。

▲海外代表の方

わかったこと

「私たちは大変危険な状態にある」という事です。G7広島サミットにおいて議長国・日本が「核抑止力」を公然と主張したことは核兵器を容認し、唯一の被爆国である日本の責任を放棄したことを表しています。

▲和歌山県結団式の前

分科会「原発ゼロを目指して」

原発の持つ様々なリスク（核のゴミ処理、自然災害の危険、軍事利用、テロの標的になる危険）が語られ、GX関連法の問題点、福島の現状と課題、他原発をもつ各県からの課題の報告がありました。

▲分科会の始まる前

台風の影響

三日間の予定が二日間となり、和歌山県団、JTBの方は調整が大変だったと思います。大変密度の濃い「二〇二三年世界大会in長崎」でした。日本各地、世界各地で平和のために取り組んでいる人たちがたくさんいるという事がわかる貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。この体験をこれからの人生で生かしていきたいと思います。

▲閉会総会　高校生の報告

▲ホテルの近くは中華街でした。

「花火を観る集い」に参加して

有田支部　八幡小分会　川口　爽代

今回、三人の仲間と、有田支部主催の「花火を観る集い」に参加しました。一人は日高に勤めていますが、全員有田出身の友人です。年が近く、抱えている悩みや不安も似ているため、日頃からもっと集まって話をしたいと思っていたのですが、多忙な日々の中でなかなか機会を持てずにいました。

そのため今回の集いはとても良い機会になりました。それぞれの大変な教員生活の話を聞いて共感し合えたし、「こんな実践あるよ、うちの学校はこんな決まりになっているよ」等と、語り合うことができました。私ともう一人は、今年、他の地域から異動してきたばかりで、たくさん困っていることがあったのですが、そんなことも聞いてもらい、「変えていかないとなぁ」と思うことができました。

今後またこのような機会があればぜひ参加したいし、一ヶ月に一回でも、悩んでいることを吐き出せる場所があればよいと思います。そのなかで、組合活動の意義や自分の実践を見直し、活発に行っていきたいと思います。

学んだ！食べた！白崎BBQ

二〇二三年度青年部ツアー

コロナ禍で行ってこなかった青年部ツアーですが、今年は久しぶりに実施しました。県青年部長会で話し合い、行き先は県内、ちょっと学んでバーベキューをすることに決めました。

「学習」は一一人が参加し、由良町の公民館で地元の小田憲先生から町内の戦跡について学びました。由良町には紀伊防備体本部が置かれ、戦争の跡がたくさん残っています。戦時中の「海の特攻」と言われた人間魚雷「回天」や、潜水して敵の船底を攻撃する「伏竜」などの訓練基地があったこと、その訓練の非人道性などについて説明を聞きました。その場所にも案内していただき、戦争は現実に起こり得るものなのだとひしひしと感じました。

バーベキューは白崎の宿泊施設で行い、仕事のこと、趣味のことなどいろいろと話しながら、焼いては食べて、飲んで…と楽しみました。バンガローのはずが、人数の関係からか一棟貸しの宿で、共有のリビングで深夜までカードゲーム大会となりました。お互い信じ合ったり欺いたりしながら交流を深めました。

知らなかった人と知り合うというのは楽しく、それができるのが青年部の良さです。さらにつながりを広げていきましょう。

海草支部青年部 みんな集まった！ボウリング大会

海草支部　支部長　ルーク・ザレブスキー

八月九日（水）一八時から青年部企画のボウリング大会を開催しました。昨年に続き二度目の開催です。

青年部の企画ではありますが、ベテランの先生方にも参加してもらえるように、また、未組合員さんにも参加してもらえるようにと、夏の職場訪問で一生懸命声掛けをしました。結果、子どもを連れた参加も多く、未組合員を含め、二一名の参加がありました。子ども連れのレーンは和やかに、女性の多いレーンはにぎやかに、若い力自慢の男性レーンは白熱した戦いに。大いに盛り上がりました。

海草はお盆が終われば、すぐに二学期が始まります。短い夏休みのほんのひと時ですが、みんなで集まり、ストレス発散できたのではないでしょうか。

青年部役員がボウリング場の予約をしてくれ、前日には参加賞の乾燥わかめ（海草わかめの会にちなみ）や景品を準備してくれ、当日も参加者のお世話に走り回ってくれました。青年部が頑張ってくれているので、ぎっくり腰の僕は見学だけで大丈夫でした。

支部の中で若い組合員さんたちが頑張ってくれているのはとても嬉しいです。二学期以降も青年部の活躍が楽しみです。

ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

12 「桃太郎は盗人なのか?」

（倉持よつば　著）

和歌山市支部　西脇中分会　**志茂　雅哉**

著者の倉持さんは、現在高校生ですが、この本は小学校五年生の時に「第二二回図書館を使った調べる学習コンクール」で文部科学大臣賞を受賞した作品を書籍にまとめなおしたものです。

『空からのぞいた桃太郎』という絵本の黄色い帯に書かれていた「鬼は退治されてあたりまえでしょうか」という一文から、自分の知らない桃太郎がいるのではという疑問がうまれ、そこから二〇〇冊に及ぶ本を読み、地元の千葉県袖ヶ浦市立中央図書館は言うまでもなく、岐阜県立図書館や愛知県犬山市の桃太郎神社、なまはげを見に秋田県まで足を延ばすなど、保護者の協力があったとはいえ、小学生の知的好奇心には驚くばかりです。子どもたちの知的好奇心を伸ばすことは教師の大切な仕事の一つかと思いますが、今まで担任した生徒の知的好奇心をどこまで伸ばせたか、反省しました。

実は和歌山市民図書館に蔵書があり借りて読みました。市民図書館では「児童書」に分類されていましたが大人が読んでも感動しますよ。現在九刷二万部出版されているそうですが、その理由もわかります。また、著者が中学二年生の時にも同じコンクールで文部科学大臣賞を受賞した「桃太郎は嫁探しに行ったのか」もすごい作品です。

二冊も紹介してしまい申し訳ないですが、これもぜひ読んでほしいと思います。

日教弘教育賞

学校や個人の教育実践をまとめてみませんか？
日教弘は教育実践論文に対して表彰助成を行っています。

◆表彰および賞金額

⑴	最優秀賞２編	・学校部門50万円	・個人部門30万円
⑵	優秀賞　６編	・学校部門40万円	・個人部門20万円
⑶	優良賞　８編	・学校部門30万円	・個人部門15万円
⑷	奨励賞（上記外論文）	・学校部門10万円	・個人部門５万円

和歌山支部で選考後２～３編を本部へ推薦します。
また本部推薦以外にも支部表彰があります。

◆９月末日　日教弘和歌山支部　メールにて応募下さい

※詳しくは「日教弘和歌山支部」のホームページをご覧ください。

https://www.nikkyoko.or.jp/company/wakayama/

公益財団法人　日本教育公務員弘済会和歌山支部　TEL 073-421-7881

2023年度 第56回教育要求県民集会

日時　10月20日(金)

13時30分　打合せ
14時から開始

場所　書道資料館

1971年から行われている保護者等が教育要求を直接教育委員会に訴え、高校の学級増設や障害児学校建設、父母負担軽減などさまざまな成果をあげてきた集会です。